

## 令和7年度「地球温暖化対策推進事業」の取組状況について

### 1 要旨・目的

県の温暖化対策の基本となる第3次広島県地球温暖化防止地域計画（以下「地域計画」という。）に基づき実施した、「地球温暖化対策推進事業」の令和7年度の取組状況について報告する。

### 2 現状・背景


- 令和5年3月に地域計画を改定し、令和12（2030）年度の温室効果ガス削減目標を39.4%減（平成25（2013）年度比）とし、目標達成に向けた取組を実施している。
- 地域計画においては、家庭や中小事業者等における省エネルギー対策とともに、自家消費型太陽光発電や小水力発電等の再生可能エネルギーの導入促進等を重点施策としている。

### 3 取組状況等の概要





ネット・ゼロカーボン社会の実現に向けて、「省エネルギー対策の推進」及び「再生可能エネルギーの導入促進」を軸に、次の取組を実施した。

#### (1) 省エネルギー対策の推進



##### ① 省エネ機器導入支援事業

対象者	家庭
事業内容	省エネ家電の購入にあわせて「うちエコ診断 WEB サービス」※1を受診した者に対してポイントを付与（ポイント付与上限：5,000円分、購入代金の1/2以内）
取組状況等	<p><b>【取組状況と成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○対象家電 エアコン、冷蔵庫、LED※2</li> <li>○事業期間 令和7年6月5日～令和8年2月28日</li> <li>○申請状況 目標：46,000台 実績：42,610台</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>【広報物（チラシ等）】</b></p>  <p style="text-align: center;">（実績内訳：エアコン 3,552台、冷蔵庫 8,868台、LED 30,190台）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○その他 直接効果として年間で約2,006tのCO2削減</li> </ul> <p><b>【今後の対応】</b></p> <p>令和8年度は、従来の買い替え支援中心の取組を発展させ、「うちエコ診断WEBサービス」の受診を入口として、診断後の行動実践やその効果をアプリ等で見える化するるとともに、行動に応じたポイント付与等も組み合わせながら、県民の継続的な省エネ行動の定着につなげていく。</p> <p>※1 家庭の光熱費等を基にCO2排出量を見える化し、具体的な省エネ対策を提案する環境省の診断サービス          ※2 エアコン、冷蔵庫は省エネ法で定める統一省エネラベル3つ星以上の製品を、LED照明器具は国の「省エネ型製品情報サイト」に掲載された製品（前年度と変更無し）</p>

② 中小企業省エネルギー普及啓発・導入支援事業

対象者	中小企業
事業内容	<p>○省エネ設備改修等促進のための、国補助金等の制度周知や活用に向けた個別相談会の開催</p> <p>○CO2 排出量の可視化から省エネ設備改修計画作成等まで、企業の取組進度に応じた伴走型省エネ支援</p>
取組状況等	<p><b>【取組状況と成果】</b></p> <p>○セミナー：9回（参加者累計 564 名） ※広島銀行・中国電力との共催事業等</p> <p>○相談会：9回（参加社累計：328 社）</p> <p>○伴走型支援：県内企業 49 社に対し、各社のニーズや課題に応じたオーダーメイド型の伴走支援を実施。 ※昨年度に比べ 15 社増加</p> <p><b>【今後の対応】</b></p> <p>令和 8 年度は、引き続き、セミナー・相談会や伴走型省エネ支援を実施するとともに、新たに省エネ設備等への導入を支援する。また、金融機関など関係機関と連携した支援体制を構築するほか、サプライチェーン全体での省エネ・脱炭素化を加速するためのモデル的取組を支援し、その成果の横展開を図る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <p>【セミナー・相談会】</p> <p>【伴走型省エネ支援（省エネ診断）】</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p><b>【伴走型支援チラシ】</b></p> </div>

③ スマートハウス普及促進事業

対象者	住宅購入や改修を検討している県民、県内中小規模の工務店等
事業内容	既存住宅の断熱リフォーム等の普及・啓発
取組状況等	<p><b>【取組状況と成果】</b></p> <p>○中小規模の工務店に対し国補助金の情報等に係るセミナーを開催 （5 回実施、参加者累計 55 名）</p> <p>○県民に対し断熱リフォームのメリットをイベント出展により周知 （7 回実施、参加者累計 786 名）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">【セミナー・イベントの様子】</p> <p><b>【今後の対応】</b></p> <p>令和 8 年度は、中小規模の工務店等を対象とした国庫補助活用等のセミナーの開催、イベント出展等での県民への断熱リフォームによる省エネ効果及びヒートショック等の健康リスク軽減効果を含むメリット周知等の普及啓発を実施する。また、既存住宅の窓断熱改修に対する補助金事業も併せて実施することにより、スマートハウスの普及促進を図る。</p>

(2) 再エネ導入促進

① 課題解決型太陽光発電施設導入事業

対象者	PPA 事業者*等 (※対象施設：県内の民間施設、公共施設等) *PPA 事業者：需要家が保有する施設の敷地内に太陽光発電設備を設置し、管理・保守を行いながら、発電した電力を有償で提供する事業者				
事業内容	自家消費型太陽光発電の普及に向け、導入に課題を有する施設に対する太陽光発電設備導入のモデル事業を実施。PPA 事業者に対し企画提案を公募し、モデル事業に必要な経費の一部を支援。(補助率：1/2、補助上限額：800 万円)				
取組状況等	<p><b>【取組状況と成果】</b></p> <p>○次の3社の事業を採択し、取組を実施</p>				
	<table border="1" style="width:100%"> <thead> <tr> <th style="width:30%">事業者名等</th> <th style="width:70%">事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="411 685 662 1019">                             ①株式会社良和ハウス (広島市)                         </td> <td data-bbox="662 685 1442 1019">                             ○事業所の屋上に太陽光パネルを設置 (R8.1 完成)                              ○「太陽光+低重心架台+蓄電池」を活用した太陽光発電設備の設置機会創出を図る。余剰電力を蓄電池へ充電し、災害時停電時には自社及び近隣向けの非常用電源として活用する。                              </td> </tr> </tbody> </table>	事業者名等	事業内容	①株式会社良和ハウス (広島市)	○事業所の屋上に太陽光パネルを設置 (R8.1 完成) ○「太陽光+低重心架台+蓄電池」を活用した太陽光発電設備の設置機会創出を図る。余剰電力を蓄電池へ充電し、災害時停電時には自社及び近隣向けの非常用電源として活用する。 
	事業者名等	事業内容			
	①株式会社良和ハウス (広島市)	○事業所の屋上に太陽光パネルを設置 (R8.1 完成) ○「太陽光+低重心架台+蓄電池」を活用した太陽光発電設備の設置機会創出を図る。余剰電力を蓄電池へ充電し、災害時停電時には自社及び近隣向けの非常用電源として活用する。 			
②くまわ企画合同会社 (広島市)	○集合住宅各階バルコニーへ軽量フレキシブル太陽光パネルを設置 (R8.6 完成予定) ○小規模集合住宅の各階バルコニー(手すり部分)に軽量フレキシブル太陽光パネルを設置し、住戸単位で自家消費。小型の蓄電池を併設して昼夜の需給を調整し、屋根面積や受電容量の制約下でも展開可能な供給モデルを実証する。 				
③医療法人社団 聖愛会 (広島市)	○屋根全体への軽量パネルの分散配置とポータブル蓄電池の複数設置 (R8.4 完成) ○屋根荷重制約と敷地不足に対応し、軽量パネルを屋根全体へ分散配置して重量を平準化。非常用電源としてポータブル蓄電池を複数台確保。平時は自家消費、非常時はポータブル電源として医療機能維持に活用する。 				
<p><b>【今後の対応】</b></p> <p>モデル事業の成果を検証するとともに、事例展開による普及を図る。また、令和8年度も引き続き、新たなモデル事業の公募を実施し、自家消費型太陽光発電の導入拡大につなげていく。</p>					

## ② 水道施設マイクロ水力発電導入支援事業

対象者	県内市町、広島県水道広域連合企業団（旧県営水道事業）
事業内容	小水力発電の普及に向け、令和6年度に実施した県内水道施設の導入ポテンシャル調査の結果を踏まえ、令和7年度は、導入可能性がある施設について、現地条件や事業性等の詳細調査を実施
取組状況等	<p><b>【取組状況と成果】</b></p> <p>○詳細調査の対象とした3施設を対象に、現地条件の確認や水力発電設備メーカー等へのヒアリング調査を実施し、設備導入条件や採算性向上策、施設管理上の課題解決策などを整理した。</p> <p>○その結果、2施設では、一定程度の発電量が見込まれ、投資回収が可能と評価された一方、建設費等の初期費用や設置スペースの制約、送水の安全性確保などの課題が確認されたことから、引き続き、課題解決策や事業化に向けた対応を整理する必要がある。</p> <div data-bbox="1066 600 1437 860" style="text-align: center;"> <p>【事業イメージ】</p> </div> <p><b>【今後の対応】</b></p> <p>令和8年度は、過年度調査の結果を踏まえ、引き続き、導入可能性がある施設について、小水力発電事業者や設備メーカー等と連携し、課題解決策等の検討を行うとともに、関連データの収集方法や手続き等を整理したマニュアルを作成し、県内市町や民間事業者への横展開を図る。あわせて、水道施設以外の分野における未利用水力の活用可能性についても検討し、小水力発電の普及促進につなげていく。</p>